

## 令和4年度畜産業振興事業の執行状況

(単位：百万円)

区分	予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
畜産業振興事業 (うち不用額の 大きい事業)	106,949	53,423 (18,643)	53,526	
1 優良肉用子牛 生産推進緊急 対策事業	9,928	1,731 (0)	8,196	<p>事業発足当初は、全品種区分で奨励金の交付が見込まれたが、肉用子牛価格の下落が一部の品種及び地域にとどまり、奨励金の発動が限定されたためであり問題はない。</p> <p>本事業は、家畜市場における肉用子牛の取引価格の平均価格が発動基準を下回った場合に肉用子牛生産者に奨励金を交付するセーフティネットの事業。</p>
2 酪農労働省力 化推進施設等 緊急整備対策 事業	5,500	656 (98)	4,844	<p>新型コロナウイルス感染拡大等に伴う建築資材や施工業者の不足、機械の納品の遅れ等により、年度内に事業が完了しないと見込んだ酪農家が、事業参加を見送る等の事例があったためであり問題はない。</p> <p>本事業については一定の役割を果たしたので令和5年度から見直しを行い統合した。</p>
3 畜産経営災害 総合対策支援 事業	4,603	270 (125)	4,333	<p>令和4年度に発生する災害に対応する必要額が措置されたが、対象となる災害</p>

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					<p>の数、範囲が少なく、年度内に執行する必要がなかったためであり問題はない。</p> <p>本事業は、各種自然災害等により畜産農家の経営に大きな影響を及ぼす被害が発生した場合に、被災農家の経営継続・再開を支援するためのセーフティネットの事業であり、令和5年度から見直しを行い統合した。</p>
4	家畜防疫互助 基金支援事業	2,867	855 (0)	2,012	<p>令和3、4年度に疾病が発生した生産者に対する必要額が措置されたが、年度内に経営再開できず、互助金交付申請が次年度以降に見送られたためであり問題はない。</p> <p>本事業は、口蹄疫等の家畜疾病発生に伴い家畜の殺処分等を行った畜産経営体への互助金交付を支援するセーフティネットの事業であり、令和5年度から見直しを行い統合した。</p>
5	食肉流通改善 合理化支援事業	3,526	1,519 (0)	2,007	<p>中小食肉卸売事業者に対する民間融資の円滑化を図るために債務保証を受けている事業者において、代位弁済を必要とする事案が少なかったためであり問題はない。</p>
6	肉用牛経営安 定対策補完事 業	3,636	2,114 (1,003)	1,522	<p>配合飼料をはじめとした生産資材の価格高騰等の影響による増頭意欲の低下から、「簡易牛舎等の整備」や「中核的担い手育成増頭</p>

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					推進」の事業参加を見送る等の事例があったためであり問題はない。
7	酪農経営支援 総合対策事業	4,506	3,301 (1,762)	1,205	酪農家の傷病時における酪農ヘルパーの利用が伸びなかった他、新型コロナウイルス感染拡大等に伴う機械の納品の遅れや飼料・資材の価格高騰等により酪農協等が事業参加を見送る等の事例があったためであり問題はない。
8	ウイズコロナ における畜産 物の需給安定 推進事業	3,700	2,900 (1,733)	800	脱脂粉乳の在庫低減支援について、子牛の出生頭数が減少したことに伴い、飼料用途の仕向け先の需要が伸びなかったためであり問題はない。 本事業については一定の役割を果たしたので令和5年度から見直しを行い統合した。
9	畜産物処理加 工施設非常用 電源緊急設備 事業	474	0 (0)	474	要望分は過年度までに実施済み。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響で、これまでに実施できなかったもの等に備え措置していたものの、結果的に要望がなかったためであり問題はない。 本事業については一定の役割を果たしたので令和5年度から見直しを行い統合した。
10	種豚等流通円 滑化推進緊急 対策事業	510	58 (0.5)	452	C S F ワクチン接種推奨区域の拡大に伴う種豚等の移動制限により、出荷及び

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					供給拠点の整備等が当初想定通りに進まなかったためであり問題はない。 本事業については一定の役割を果たしたので令和5年度から見直しを行い統合した。
11	畜産特別支援 資金融通事業	911	509 (47)	402	畜産経営体のセーフティネットとして措置されているものであるが、コロナ禍対策として(株)日本政策金融公庫からの大幅な資金供給があったことから本事業の需要が一時的に減ったためであり問題はない。
12	和子牛生産者 臨時経営支援 事業	300	21 (0)	279	事業の周知を効率的に実施し参加申込書の取りまとめに係る費用を節減できたこと、また、支援交付金の交付に使用するシステム構築を想定していたが、過去に実施した事業のプログラムを活用し開発費を節減できたことによるためであり問題はない。 本事業は、和子牛の取引価格の平均価格が発動基準を下回った場合に、和子牛生産に係る合理化に取り組む生産者に支援交付金を交付するセーフティネットの事業。
13	堆肥舎等長寿 命化推進事業	222	34 (1)	188	本事業は、堆肥舎等を所有している畜産農家に対して堆肥舎等の補修の実証・処理能力の拡充が必要な場合に簡易堆肥舎の整備等を支援する事業である。

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					堆肥舎等の補修の実証・簡易堆肥舎の整備については、景気低迷や資材価格の高騰などの要因による堆肥舎等に対する投資意欲が減退するなどの外的要因により畜産農家からの要望が減少したことから、本事業における支援も低迷し不用が発生したが、事業は適正に執行されており問題はない。
14	養豚経営安定 対策補完事業	200	69 (4)	131	飼料・資材価格の高騰による経営状況悪化により、種豚更新を控えたことによる導入頭数の減少であり問題はない。
15	畜産高度化推 進リース事業	119	4 (0)	115	本事業は、畜産環境対策リース事業の借受者が加入する保証保険に係る保険料相当額及び損害保険に係る保険料相当額を支援する事業である。 本リース事業は、景気低迷や資材価格の高騰などの要因による畜産環境に対する投資意欲が減退するなどの外的要因により貸付が低迷したことから、本事業における支援も低迷し不用が発生したが、事業は適正に執行されており問題はない。
16	発生畜産農場 等経営継続対 策事業	77	6 (6)	71	新型コロナウイルスの感染者等が確認された農場が少なかったためであり問題はない。

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					本事業は新型コロナウイルス感染者等が確認された畜産経営体等が実施する経営継続のための取組を支援するセーフティネットの事業。
17	畜産経営安定化飼料緊急支援事業	149	110 (67)	39	飼料工場の閉鎖に係る手続等が遅延したことに伴い、配合飼料製造業者が飼料工場の施設廃棄の実施を見送る等の事例があったためであり問題はない。
18	肉用子牛流通円滑化緊急対策事業	32	2 (0)	31	令和4年度に発生する新型コロナウイルス感染拡大等の影響による家畜市場の休場等に対応する必要額が措置されたが、結果として出荷調整を要する事例が少なかったためであり問題はない。
19	地域食肉等処理・供給体制確保緊急対策事業	3	1 (0)	2	事業実施主体への指導事務費を想定していたものの、事業実施主体からの申請がなく、結果として不用額が計上されたためであり問題はない。

注1：補助金ベース。

注2：全体の予算額には、複数年度分として予算措置された次年度以降分の額を含む。

注3：「不用額の大きい事業」は、複数年度分として予算措置された2事業24,351百万円を除く、執行率80%未満の事業。なお、上記のほかに8事業で2,073百万円の不用額があったが、いずれの事業も要望に沿って適正に執行した結果、いずれも執行率は80%を上回っており、問題はなかった。

注4：予算繰越を行った各事業の主な理由は、事業実施主体から間接補助事業者に対する補助金交付の一部が翌年度になったためである。

## 令和4年度における畜産関係の緊急対策について

新型コロナウイルス感染症、豚熱の発生等の対策として、機構は以下のとおり、畜産業振興事業の一環として緊急支援対策を実施した。

《凡例、「新規（拡充）緊急対策：□」》

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1	和牛肉保管在庫支援緊急対策事業	・牛肉需要の減退に対応するため、冷凍牛肉の保管や販売促進を支援する取組を支援	16,685,802
2	肉用子牛流通円滑化緊急対策事業	・家畜市場における肉用子牛の出荷調整のため、やむを得ず計画出荷を行う肉用子牛生産者に対する助成金を交付	32,082
3 □	ウイズコロナにおける畜産物の需給安定推進対策事業	・脱脂粉乳の在庫低減に対する取組、牛乳乳製品等の販路の拡大等のための取組及び家庭での新たな国産内臓の需要を創出するための新製品開発・普及の取組を支援	3,700,000
4	発生畜産農場等経営継続対策事業	・新型コロナウイルス感染者等が確認された畜産経営等を継続するため、代替要員等の派遣、農場等清浄化の取組等を支援	77,228
5 □	肥育牛経営改善等緊急対策事業	・コロナ禍におけるウクライナ情勢に伴う物価高騰に対応するため、配合飼料価格安定制度の基本的な機能を維持し、補填金の交付に必要な資金に充てるために、融資機関から資金の借入れを行う場合に要する利子相当額について支援	23,668,752

### 2 豚熱発生に伴う対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1	野生イノシシ経口ワクチン散布対策事業	・豚熱用経口ワクチンを導入する取組を支援 ・野生イノシシに対する経口ワクチン散布及び回収にかかる取組を支援	1,052,814

2	種豚等流通円滑化 推進緊急対策事業	・豚熱の発生等による影響を低減するため、凍結精液等の保存や供給を行うための機器の導入や、豚熱ワクチン接種区域外における種豚・精液等の供給拠点の整備、ワクチン接種区域内で滞留する肥育素豚を飼養するための簡易豚舎の整備、種豚群の避難等について支援	510,035
3	地域食肉等処理・ 供給体制確保緊急 対策事業	・豚熱地域のと畜場併設食肉処理施設を管理・運営する事業者及び食肉流通事業者等に対し、経営維持に必要な資金を貸付けた場合の利子補給等	2,574

### 3 その他緊急対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1	国産乳製品等競争 力強化対策事業	・生乳生産者がチーズ向け生乳の品質向上のための取組を行った場合に、乳質基準を満たした生乳に対し奨励金を交付 ・チーズ製造者における技術研修会、国際コンテスト等への参加、チーズの普及活動等の取組を支援	5,598,992
2	<input type="checkbox"/> 乳製品長期保管特 別対策事業	・生産者団体自らが乳製品在庫を長期間隔離保管する取組を支援	699,730
3	<input type="checkbox"/> 国産粗飼料利用拡 大緊急酪農対策事 業	・国産粗飼料の利用拡大や生産コストの削減を図る者を対象に輸入粗飼料等の価格の急騰による生産コストの上昇分に係る補填金を交付	7,363,855
4	<input type="checkbox"/> 優良肉用子牛生産 推進緊急対策事業	・肉用子牛の飼養頭数を維持するため、家畜市場における肉用子牛の取引平均価格が発動基準を下回った場合に、経営改善を図る肉用子牛生産者に奨励金を交付	9,927,613
5	<input type="checkbox"/> 和子牛生産者臨時 経営支援事業	・和子牛の取引価格の平均価格が発動基準価格を下回った場合に差額の一部を補てんする事業を支援	300,000